

**「中枢神経系における生理活性脂質および関連蛋白質の役割
-生理活性脂質およびその関連物質のヒト疾患病態生理への関与の解明-」
に関する情報公開**

当センターでは下記の研究を実施します。この研究の研究対象者に該当すると思われる方のご遺族で、本研究に協力されたくないと思われた場合には、問い合わせ担当者までご連絡ください。また、該当すると思われる方で、研究内容についてよく知りたいと思われる方は、お問い合わせください。研究の守秘義務および個人情報の保護に反しない範囲で出来る限りご回答させていただきます。研究に参加されない場合でも不利益な扱いを受けることはありません。また、本研究により個人を特定できる情報が外部に出ることはありません。

【研究課題】

中枢神経系における生理活性脂質および関連蛋白質の役割-生理活性脂質およびその関連物質のヒト疾患病態生理への関与の解明(多施設共同研究)

【研究期間】

倫理委員会承認後 ~ 2028年4月30日

【対象となる方】

2001年7月~2020年3月に病理解剖を行い、東京都健康長寿医療センター高齢者ブレインバンクに登録された方。

【研究の目的】

ヒト疾患における生理活性脂質およびその関連物質の関与を明らかにすることを目的とします。

【研究の意義】

生理活性脂質は、基礎研究よりヒト疾患病態に深く関与することが想定されております。これらの基礎研究から得られた知見をヒトに外挿するには、まずヒト検体中において、生理活性脂質が変動することを確認する必要があります。本研究において、ヒト検体における生理活性脂質およびその関連物質の変動を明らかにすることができれば、生理活性脂質の臨床応用（薬剤、検査の開発）につながることを期待されます。

【研究の方法】

サンプル(血液、尿、脳組織)は、収集を行なった各研究機関(University of Miami, 東北大学, 日本神経科学ブレインバンクネットワーク)にて匿名化され、東京大学医学部附属病院検査部に送付されます。検査部にて、生理活性脂質およびその関連物質の測定を行い、測定結果を患者情報と統合して解析を行います。

【研究に使用する試料・情報】

当センターからは、高齢者ブレインバンクに登録された方の剖検脳 50 症例とそれに付随する情報を提供いたします。

【研究】

本研究では、東京大学医学部附属病院における共同研究契約に基づき、東ソー株式会社より測定試薬(オートタキシン、PS-PLA1)、積水メディカル株式会社より測定試薬(アポ蛋白M)の無償提供を受けて実施いたしますが、研究の実施や報告の際に、東ソー株式会社、積水メディカル株式会社に都合のよい成績となるよう意図的に導いたりすることはありません。また、当センター所属の者が、これに関与することはありません。

【研究組織】

東京都健康長寿医療センター[齊藤 祐子、村山 繁雄]
国立精神・神経医療研究センター[高尾 昌樹]
医療法人さわらび会福祉村病院 長寿医学研究所[金田 大太]
公益財団法人脳血管研究所・美原記念病院[美原 盤]

東京大学医学部附属病院・検査部 蔵野 信(主たる研究者)
University of Miami (Yelena Drexler[Associate Professor]、Alessia Fornoni[Professor])
東北大学(玉田 勉、講師 三枝 大輔)

2023年8月

【問い合わせ先】

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号
東京都健康長寿医療センター
高齢者ブレインバンク/神経病理 齊藤祐子(研究責任者)
電話 03-3964-3241 内線 4419 (平日 9:00~17:00)